

少し足を延ばして

石川の歴史探訪

能登外浦の春をめぐる

1日ドライブ



1 羽咋市柴垣町

能登の白うさぎに会う

因幡の白うさぎは、隠岐の島と白兔海岸(鳥取県)を舞台にした伝説です。能登にも同様の白うさぎ伝説があり、柴垣海岸の長手島(石川県羽咋市柴垣町)の妙成岩から、滝崎(氣多大社)まで、白うさぎがサメをだまして飛び渡ったため体の毛をむしりとられたと伝えられているそうです。毛をむしりとられて、苦しんでいたところ、大国主神からガマの穂の花粉(生薬として傷薬に使われる)をつければ良いと教えられ、白うさぎは命拾いしたという結末は同じのことです。



2 羽咋市滝谷町

妙成寺の10棟の国の重要文化財をめぐる

日蓮上人の孫弟子、日像上人を開祖として、700年前に建立され、当時のままの姿を残しています。



4 輪島市門前町門前

禅の修行場 大本山總持寺で700年の古をしのぶ



パワースポット おそうじ小僧

立て看板には、次のように書かれていました。
“禅宗では座禅の次に大切な修行として作務(境内などの清掃などをいう)というのが重要視されます。風があり、掃いても掃いても、効率が上がらない時でも掃かせます。「なぜ、風が収まってから掃けばいいのに」という要らぬ思いも掃くためです。心の塵や悩みを払ってくれます”
他にも、味噌摺り地蔵、乳もらい地蔵などのパワースポットが敷地内にあります。

3 輪島市門前町深見

猿山岬で春の訪れを告げる雪割草を求めて

娑婆捨(しゃばすて)峠の駐車場に車を止め、猿山口から徒歩で灯台に向かう(そこそこの山道を行くので、トレッキング用のシューズ、服装で!)



雪割草

猿山岬は、国内有数の雪割草の群生地です。遊歩道を進むと、そこかしこに雪割草のほか、スマレやキクザキイチゲなどの可憐な花たちを鑑賞できます。



スマレ



キクザキイチゲ



[文・写真:遠藤]